

《担当者名》 志水 幸 [koh@hoku-iryo-u.ac.jp]
 大嶋 巖(非) [i-oshima@tfu.ac.jp]
 加藤敬太(非) [keitakato@mail.saitama-u.ac.jp]

【概要】

この講義では、臨床における「アドミニストレーション」の枠組みやプログラム評価、事業展開に関する経営戦略のあり方について概説する。

【学修目標】

1. 臨床における「アドミニストレーション」の枠組みを説明できる。
2. 自らの臨床にプログラム評価の手法を適用できる。
3. 自らが所属する組織の経営戦略について構想できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イノベーションと第三者性	組織改革における第三者性の意義	志水
2	アドミニストレーションの枠組み	社会資源（組織におけるヒト・モノ・カネ・情報等）の運営・管理	志水
3	組織のアドミニストレーションとプログラム評価の活用	利用者主体の組織運営に求められるリカバリーゴールの実現と学習する組織	大嶋
4	福祉プログラム評価論総論	プログラム評価の定義、活用の意義、評価階層、ソーシャルワーク実践との関係性など	大嶋
5	各論：制度の狭間問題への対応～効果モデルの設計・開発	ニーズ評価と理論評価を活用した効果モデルの設計・開発評価	大嶋
6	各論：成果の上がない制度モデルの改善・再設計	前回課題に加えてプロセス評価（効果的援助要素の抽出、フィデリティ評価尺度の構築）の設計・実施	大嶋
7	各論：導入した効果モデルの形成・改善、エビデンス生成	プロセス評価（効果的援助要素の抽出、フィデリティ評価尺度の構築）とアウトカム評価の活用	大嶋
8	各論とプログラム評価論まとめ：海外のEBPプログラムの導入と実施・普及、評価キャパシティの組織定着	EBPプログラムの技術移転、実施・普及のための組織レベルの実装方略の構築	大嶋
9	経営学と臨床を考える	臨床の現場でどのように経営学（経営組織論・経営管理論・経営戦略論）を活かすのか。実学と理論の関係にも言及。	加藤
10	域社会と企業経営	医療の現場と地域社会は切っても切り離せません。私のフィールド調査の事例を紹介しながら理解を深めます。	加藤
11	企業ドメインの経営戦略	経営戦略論で基本概念となる企業ドメイン（存在領域かつ戦略領域）に関して学びます。	加藤
12	企業家活動の4類型	企業家とはイノベーションの担い手のことであります。近年の経営戦略論では重要な概念と位置付けられています。4つの代表的な企業家活動の古典的研究を紹介します。	加藤
13	地域オープン・イノベーションと企業家活動	医療現場と切り離せない地域社会。その中で、企業家活動を通じたイノベーションをどのように起こせばいいのか、オープン・イノベーションの考え方を応用する見方を提供します。	加藤
14	CSRと経営戦略	経営戦略においてCSR（corporate social responsibility）の着想を活かして成長することが不可欠な時代です。戦略的CSRの発想を事例を交えて議論します。	加藤
15	課題と展望	総括と今後の課題	志水

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート（50%）、プレゼンテーション（50%）

【教科書】

特に指定しない。必要な資料等について、適宜配布する。

【参考書】

必要に応じて、適宜指示する。

【備考】

この講義は、学則上の選択科目であるが、高度実践コースを履修する学生については必修科目である。

【学修の準備】

自らの実践を振り返る手法の一つとして、ケース研究の手法についての基礎的な知識が必須である。